

令和5年度

たんしょう

神川町立丹荘小学校

郷土芸能体験



第6学年

特色

- 今から四半世紀ほど前、丹荘小には、古びた太鼓がひっそりと置いてあった。「せっかく戻った太鼓をこのままにしておくのはもったいない。早く子供たちにこの太鼓の音を聞かせたい。」と職員の願いから、芸術鑑賞会を企画。この太鼓を化粧直し、お披露目となった。これをきっかけに、神川町の「神川豊穰ばやし」が誕生した。丹荘小学校では、太鼓クラブを設立し、現在も続いている。150周年記念に神川町の伝統芸能となった神川豊穰ばやしをお呼びして、全校で鑑賞し、6年生が太鼓の体験を行った。

児童の感想

- 笛と太鼓のひびきがとても合っていて、聴いても観ても楽しめるパフォーマンスが素晴らしいと思った。伝統文化の独特なリズムがかっこいいと思った。和太鼓の迫力に引きずり込まれるような感じがした。

成果

- 地域の方々の協力による体験学習の実施、学校行事への地域の方々の参加等、教育活動への理解を深める場を多く設定することで地域との連携を深めることができた。